

各 位

上場会社名 **株式会社 やまねメディカル**  
 (コード番号 2144 : JASDAQ)  
 本店所在地 東京都中央区八重洲二丁目 2 番 1 号  
 代 表 者 代表取締役社長 山 根 洋 一  
 問 合 せ 先 副社長執行役員 西 村 功  
 電 話 番 号 (03)5201-3995  
 (URL <http://www.yemd.co.jp/>)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 28 年 2 月 15 日に公表いたしました平成 28 年 3 月期の通期の連結業績予想を、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

1. 平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

( 単位 : 百万円、%)

	営業収入	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	7,795	△530	△570	△1,080	円 銭 △98.63
今回修正予想 (B)	7,783	△655	△743	△1,329	△121.38
増 減 額 (B-A)	△12	△125	△173	△249	△22.75
増 減 率 (%)		—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 3 月期)	6,477	△1,259	△1,290	△1,014	円 銭 △92.67

2. 平成 28 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

( 単位 : 百万円、%)

	営業収入	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	7,670	△495	△1,035	円 銭 △94.52
今回修正予想 (B)	7,669	△678	△1,332	△121.70
増 減 額 (B-A)	△1	△183	△297	△27.18
増 減 率 (%)		—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 3 月期)	6,440	△1,167	△1,040	円 銭 △95.03

### 3. 修正の理由

修正の主な理由は以下のとおりであります。

#### 【連結及び個別】

営業収入は予想どおりとなりましたが、以下の理由により利益面では損失幅が拡大する結果となりました。

- (1) 労務費、経費を含め、コスト削減による利益改善策の効果について、特に現実には現場における円滑な業務運営のうえで、日々の利用者数に対する適正な人員配置の過不足調整の中で余剰配置が生じるため、想定どおりの削減ができませんでした。これが経費削減の未達と合せて、営業利益において約 80 百万円の利益減に影響しました。
- (2) その他の要因としては、決算整理の段階において行った以下の事項が、営業利益において約 47 百万円の利益減に影響しました。
  - ① 未収入金の一部に対して貸倒引当金を計上しました。
  - ② 長期滞留の立替金に対して貸倒引当金を計上しました。
  - ③ 翌月払いの人材派遣費の一部を発生主義により当期に原価計上しました。
  - ④ リース料の翌月払い分を発生主義により当期に原価計上しました。
- (3) 営業利益と経常利益との修正幅の差は、後記のとおり総合ケアセンターの長期リース物件のうち 6 拠点のオンバランス化に伴い、リース料を原価から営業外費用の支払利息に振替えた金額 48 百万円に相当いたします。

#### 【連結】

経常利益と親会社に帰属する当期純利益との修正幅の差は、法人税等調整額の増加によるものであります。

#### 【個別】

経常利益と当期純利益との修正幅の差は、次の要因によるものであります。

- (1) 法人税等調整額が増加しました。
- (2) 子会社への長期貸付金のうち 44.4 百万円を関係会社貸倒引当金に繰り入れるとともに、子会社株式の評価損失 31.1 百万円を計上し、いずれも特別損失に計上いたしました。

なお、平成 28 年 5 月 9 日付「平成 28 年 3 月期決算短信の発表の延期に関するお知らせ」にてお知らせいたしましたとおり、当社の総合ケアセンター事業の拠点である長期リース物件に係る会計処理に関し、オンバランス化と減損の要否の検証作業を進めてまいりました。長時日にわたる検証と監査法人との協議を重ねたうえで、平成 27 年 4 月 1 日以降に契約・開設した 16 拠点のうち、6 拠点についてのみファイナンス・リースと認識し、そのリース債務・資産を貸借対照表に計上いたしますが、減損は結果として実施しないこととなりましたので、併せてお知らせいたします。

以 上